



おちこち  
彼方此方歩く仏光寺とその界限—  
裂き織り体験で知る着物の今と昔

着物は自然の恵みと多くの人の手を経てカラダをやさしく包み、布として生き、土に還っていく衣服。家庭内で途切れてしまった伝承を掘り起こしながら、これからの暮らしに合ったキモノ・ライフを広めて、女性・男性・子どもたちにも普段着に気軽に着てほしいという思いを持つ彼方此方屋の代表 たなかきょうこさんに、仏光寺とその界限、着物の今と昔についてお話いただきます。

集合

13:00  
仏光寺 境内  
(下京区)



ちーたび

お話

13:30  
彼方此方屋 3F  
お茶の間  
「着物の今と昔」  
たなかきょうこさん



体験

14:00～  
裂き織りワークショップ  
手機を使い、コースターをお作りいただきます。



交流

15:30～  
交流会

おいしいお茶とマカロンを  
いただきながら  
楽しくお話ししましょう！

たなかさん  
オススメ！



解散

16:00  
ありがとうございました！



旗を振って  
お待ちしております！



案内人 たなかきょうこさん  
全く無駄のないエコ衣料＝着物を普段使いに気楽に  
着しめるよう、彼方此方屋を始めて12年目。  
リサイクル着物、家庭で洗えるオリジナルの国産  
木綿着物を企画販売するほか、  
着付け・裂き織り・古布小物手作り教室を運営。  
地域では着物のあれこれ相談役として活躍中！

日時 ＊ 7月2日(水) ＊雨天決行  
13:00～16:00

参加費 ＊ 2,000円  
(ガイド代・ワークショップ材料費・お茶代・保険代含む)

定員 ＊ 10名 ＊定員になり次第〆切

【お申込み・お問い合わせ】FAXまたはHPにて受け付けています。  
FAX. 075-693-4625 (裏面のお申込欄にご記入ください)  
URL <http://www.castnet.co.jp>(京都市ちーびず 申込みフォームより)

主催:株式会社カスタネット 社会貢献室 京都市ちーびず推進担当 E-mail: [abc@castnet.co.jp](mailto:abc@castnet.co.jp)



※京都府では、新しい仕事を創る方を積極的に地域づくりの目標に取り組み、京都市の活性化に貢献することを応援しています。  
ちーたびは元々の目的が交流促進にあるため、ちーびずマルシェ(交流共同委員会)や、ちーびず女子のイベント(交流カフェ)も、各地のちーびずを応援する  
民間と京都府との共同事業です。  
お問い合わせ先:京都市地域力強化部 電話:075-474-4890(京都市) 京都市緊急雇用創出事業(企業支援型)地域雇用創造事業の一環です。

お申込み方法は、HPお申込みフォームまたはFAXでお申込みください。

HPお申込みフォームは、下記、URLより「京都ちーびず」をクリックして、申込みフォームにご入力ください。

<http://www.castanet.co.jp>

FAXは、下記、申込み欄に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。

FAX : 075-693-4625



申込締切：6月26日

【彼方此方(おちこち)歩く仏光寺とその界隈—裂き織り体験で知る着物の今と昔】

### 参加申込み

フリガナ		男・女	TEL. ( )
お名前(フルネーム)			FAX. ( )
ご住所	〒		緊急連絡先 携帯 勤務先 その他 ( )
会社名/団体名			Eメールアドレス

【個人情報について】

ご記入いただきました個人情報は、本イベントの運営の他、今後開催する京都ちーびずイベント情報等に関するご案内のために利用させていただきます。上記目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。

【集合場所 地図】

京都市下京区高倉通仏光寺下ル新開町397



【交通機関】

- ◆京都駅から  
地下鉄烏丸線「四条駅」下車  
5番出口より徒歩2分
- ◆市バス  
26系統「烏丸松原」下車  
5系統「四条高倉」下車
- ◆京都バス  
17系統、51系統「四条烏丸」下車
- ◆阪急烏丸駅から  
15番出口より徒歩5分



株式会社カスタネット

〒601-8037 京都市南区東九条西河辺町33番地  
TEL 075(681)9100 FAX 075(693)4625

<http://www.castanet.co.jp>  
E-mail [info@castanet.co.jp](mailto:info@castanet.co.jp)

弊社は、京都府の委託事業「京都ちーびず推進人づくり事業」を受け、京都ちーびず団体の事業活動やサービス・商品について、市場や販路拡大につなげるプロモーションづくりを目的として、企業のCSR活動とタイアップすることで、相乗効果を引き出す取り組みを行っています。